

### 【基本コンセプト】人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

#### 南北の都市軸

萬代橋や鳥屋野潟方面を結ぶ「都市の軸」を南北の広場をつなぎ、鉄道と車・歩行者の連携、周辺市街地との連続性により、永く親しまれる広場。

### 【委員会での主な意見】

#### (イメージ・考え方)

- ・空間がつながり、広がって成長していくことが重要。
- ・古町までのまちづくりの中で、この駅・駅前広場をどう位置付けるのか整理する必要がある。
- ・駅周辺のまちづくりと一緒に考えていくことが必要。
- ・移動するスピードに応じてルートを選択できるとよい。
- ・弁天通と花園の通り、東大通、それぞれの役割が必要。
- ・歩行者動線の考え方では、安全性を考慮してほしい。

#### (形・施設整備・見え方)

- ・駅前交差点の形状(地下化・スクランブル化・連続した歩道)を検討して歩車分離をしてはどうか。
- ・東大通の車道を狭め、歩道を広げることで、魅力的な空間整備ができるのではないか。

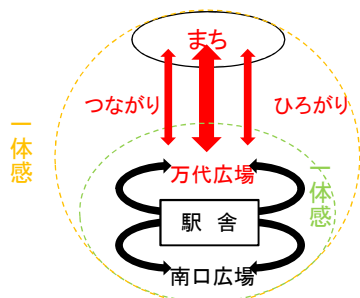
### 【2023年までの取り組み方針】

- ・駅前交差点は、地平面における歩車分離方式で安全性を確保
- ・中央広場と弁天通との連続性を意識し、半島形に中央広場を拡幅
- ・東大通の魅力向上に向け、商業関係者と意見交換し、また、必要な社会実験等を行う

### 【将来的な取り組み方針】

#### ○東大通の道路空間再構築による広場的利用

- ・民間再開発等の可能性も含め、新たな沿道の利用形態を検討し、まちと広場をつなぐゾーンとして賑わいを創出
- ・官民連携による一体的な空間整備により、まちとの一体感を醸成



**【基本コンセプト】人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」**

**南北の都市軸**

萬代橋や鳥屋野潟方面を結ぶ「都市の軸」を南北の広場をつなぎ、鉄道と車・歩行者の連携、周辺市街地との連続性により、永く親しまれる広場。

**【委員会での主な意見】**

(イメージ・考え方)

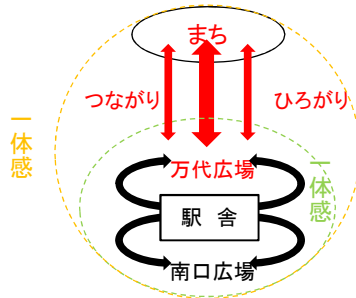
- ・駅前広場が空間としてどうあるべきか、デザインガイドラインも含めて議論が必要。
- ・何か積みあがって、まちと共に成長していく姿が、この広場で見られたら良いのではないか。
- ・造るからには良いものと、いろいろなものに応用できる空間にしてほしい。

(形・施設整備・見え方)

- ・東大通の広告や看板類など、屋外広告物について連携した取り組みが必要。
- ・駅舎や駅構内のデザインとあわせた議論が必要。
- ・南口広場や駅舎のイメージカラーとのバランスを考える必要がある。

**【取り組み方針】**

- ・まちと駅がつながり、一体感を出せるよう、駅前広場をどのような空間としていくか検討
- ・屋外広告物に関しては、駅から東大通の区間について、望ましい姿に誘導または規制を行う



### 【基本コンセプト】人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

#### 人を癒し、賑わいの絶えないプラザ

歩行者を癒すための「水」と「緑」と「光」に満ちた空間、かつ、市民に開放され様々なイベントに対応できる賑わいのある空間。

### 【委員会での主な意見】

#### (イメージ・考え方)

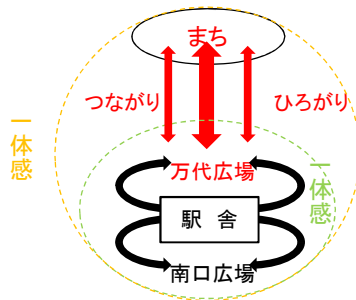
- ・道しるべの設置が重要。
- ・サインをどこにどう設置して歩行者を誘導するか計画して、広場整備と併せてサインの整備をしなければならない。
- ・観光客やインバウンドにもわかりやすい動線、仕組みが大事。
- ・目線レベルのサイン計画が大事。

#### (形・施設整備・見え方)

- ・障がい者の乗降場は駅に近い場所に設置してほしい。
- ・ただ歩くだけの空間ではなく、滞留する空間やベンチの配置も必要。

### 【取り組み方針】

- ・観光客やインバウンドにもわかりやすい動線確保
- ・案内サイン、情報発信、休憩施設など、多様な機能を搭載した道しるべの設置を計画し、広場整備とあわせて整備



【基本コンセプト】人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

「都市の庭」としての駅・広場

信濃川、日本海、鳥屋野潟など雄大な自然景観を活かし、人々や交通が気持ちよく循環し、健康的で活気に溢れた魅力ある新潟市の顔。

〈新潟らしさのキーワード〉(市民アンケートなどの自由意見から抽出 年齢性別不問N=206)

〈柳、水、日本海、信濃川、潟、空、夕日、雪、田園風景〉【自然】

〈米、酒、魚、発酵食品、農産物〉【食】

〈港、北前船、堀、萬代橋、ガス灯〉【造形】

〈まちなみ、人柄、温泉、踊り、會津ハー、マンガ〉【文化】

(その他) 無駄な装飾、無意味なオブジェがないこと。

機能性を追求したシンプルで無駄のない広場。

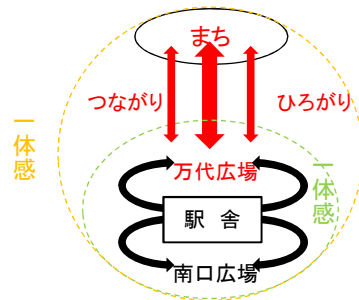
### 【委員会での主な意見】

(イメージ・考え方)

- ・景観を含めてシンボリックなものを。
- ・景観の中で新潟の印象が残るようなものであってほしい。
- ・新潟そのものの持っている意味や雰囲気がこのキーワードの中に見えていない。
- ・モニュメンタルな空間を、アクティビティで活性化していき、時間軸をきちんと捉えて発展させていくことが重要で、それに対応できる考え方がデザインされる必要がある。
- ・国際都市にするために、日本らしさ、日本の良さを表現できると、シビックプライドに繋がると思う。
- ・「土地の歴史」を掘り起こし、そこから将来のビジョンに繋げていく中で、何かをつくってほしい。

### 【取り組み方針】

- ・「新潟らしさ」は、市民による使いこなしによって、時間の経過と共に新たな「新潟らしさ」を創造



【基本コンセプト】人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

人を癒し、賑わいの絶えないプラザ

歩行者を癒すための「水」と「緑」と「光」に満ちた空間、かつ、市民に開放され様々なイベントに対応できる賑わいのある空間。

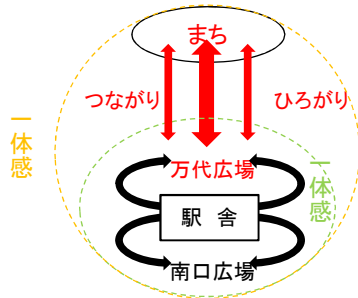
### 【委員会での主な意見】

(イメージ・考え方)

- ・市民とともに、広場利活用に向けたエリアマネジメント団体の早期立ち上げに取り組んだ方が良い。
- ・市民に向けていつ説明していくのかを整理し、その間、市民側も一生懸命勉強していく時間を取りながら、ともに成長して次世代に渡せる形づくりあげていく、というプロセスが欲しい。
- ・市民からは、希望と共に責任を持っていただきながら、どのように造っていくかが重要。

### 【取り組み方針】

- ・駅前広場等公共空間と民間施設を一体的に整備、管理、運営できるよう、商業関係者や地元住民、不動産所有者などと意見交換を行い、エリアマネジメント組織の立ち上げを検討



【基本コンセプト】人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

「都市の庭」としての駅・広場

信濃川、日本海、鳥屋野潟など雄大な自然景観を活かし、人々や交通が気持ちよく循環し、健康的で活気に溢れた魅力ある新潟市の顔。

### 【委員会での主な意見】

(イメージ・考え方)

- ・短期、中期でもできることは取りかかるべき
- ・一挙に変えるのではなく、将来を見据えて社会実験等を行いながら進めてもよいのでは。
- ・弁天通や花園の通り、東大通のあり方を議論する上で、沿道の商業関係者との意見交換が必要ではないか。

### 【取り組み方針】

- ・短期的・中期的にできるものは取り組む
- ・商業関係者や地元住民、不動産所有者などと意見交換を行う
- ・設計者が広場整備、その後の利活用と継続定期に関わっていく仕組みを検討